

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第10回講義

農業技術政策の意義・役割

農林水産省技術総括審議官 兼 農林水産技術会議事務局長
別所 智博 氏

別所先生からのメッセージ

食料供給、国土保全など私たちにとって重要な機能を持つ我が国の農業ですが、高齢化などでその基盤の脆弱化が懸念されています。生命を支える「食」、そして安心して暮らせる「環境」を未来に継承していくためには、農業技術の発展が鍵であり、農業技術政策の重要性が近年ますます大きくなっています。

今回の講義では、我が国の農業が持続性の高い産業として成長していくための主要技術課題である、「食品安全」、「食料安保」、「環境保全」、「スマート農業」について、農林水産省の省訓ともいべき「ビジョンステートメント」に照らし、技術政策の視点から、政策の方向性や可能性について解説します。

私たちの食と環境を支える農業の未来について一緒に考えて見ましょう。

日時：
2019年6月21日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

別所智博先生

昭和56年北海道大学農学部農芸化学科卒業後、農林水産省入省。

豪州留学(クイーンズランド大学農学修士課程修了)、新潟県地域農政推進課長、生産局農業環境対策課長、農業生産支援課長、総務課長、消費安全局担当審議官、技術総括審議官、農林水産政策研究所長等を経て、平成29年7月より現職。農林水産省における研究開発をはじめとする技術政策全般の総括責任者。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp